

作品制作 ワークショップ



文化庁委託事業
平成30年度
戦略的芸術文化創造推進事業
主催：文化庁、社会福祉法人トット基金
制作：社会福祉法人トット基金



©石川純

Shuji Onodera

小野寺 修二

身体表現

ワークショップA

8/14 (火)

8/15 (水)

両日 18:30~21:30

対象者
ろう者、難聴者
ろう者、難聴者との
作品作りに意欲のある
聞こえる方。
舞台に立った経験の
有無は問いません。

ワークショップB

<ショーイング制作>

8/16 (木)

8/17 (金)

12/17 (月)

12/18 (火)

12/19 (水)

2/25 (月)

2/26 (火)

2/27 (水) 発表会

全期間 18:30~21:30

身体表現を活かしたムーブメント作品を創作し、

最終日に発表会を行います。

※ダンス経験の有無は問いません。

音声日本語-
日本手話
通訳あり

ワークショップA (単発参加も可)

参加料：1回 1,000円 定員：30名程度

会場：品川区立中小企業センター レクリエーションホール (〒141-0033 東京都品川区西品川 1-28-3)

※ショーイングに参加を希望される方はご参加ください。

ワークショップB <ショーイング制作&発表会> (全期間参加が原則)

参加料：全8回 8,000円 定員：若干名 ※お申込み多数の場合は、抽選となります。

会場：トット文化館 1階 (〒141-0033 東京都品川区西品川 2-2-16)



©石川純

小野寺修二

北海道出身。演出家。カンパニーデラシネラ主宰。

日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年～06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で世代を超えて注目を集めている。第3回日本ダンスフォーラム賞受賞。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。主な演出作品は『あの大鴉、さえも』『オフェリアと影の一座』『ロミオとジュリエット』(以上、2016年/東京芸術劇場他)、『変身』(2014年/静岡県舞台芸術センター)、『ふしぎの国のアリス』(2017年/新国立劇場)等。また、瀬戸内国際芸術祭2013にて、野外劇『人魚姫』を発表するなど、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。2015年度文化庁文化交流使。

QRコードからのメールフォーム、もしくは下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。



申込QRコード

申込〆切日
2018
8/7 (火)

日本ろう者劇団「作品制作WS」担当 FAX：03-3779-0206

フリガナ 氏名			
メールアドレス	@		
障害の有無	ろう者 ・ 難聴者 ・ 聴者 ・ その他 ()		
性別	男 ・ 女 ・ その他	年齢	満 歳
ワークショップA	<input type="checkbox"/> 両日参加 <input type="checkbox"/> 8月14日(火) <input type="checkbox"/> 8月15日(水)		
ワークショップB	<input type="checkbox"/> 参加を希望する <input type="checkbox"/> 参加しない <input type="checkbox"/> 相談したい		
舞台経験	具体的にお書きください 有 ・ 無 ()		
小野寺修二作品の 観劇経験	「有」の方は作品名をお書きください 有 ・ 無 ()		
参加動機			
その他	お問い合わせなどございましたらお書きください		